

☆歯科技工問題検討委員会が5月中旬に初会合

歯科技工を取り巻く諸問題が自民党内の議員連盟が歯科技工問題検討委員会を立ち上げたとの報道があった。(日本歯科新聞掲載)少しは歯科技工(士)の現状認識に理解が示されるのだろうかと期待したい。世の中には多くの業種、職種がありどの職業が優先されるか軽視されるかは、あってはならないしありはしない。私たちは患者さんに喜びと満足を得たいとの思いと、歯科医師への信頼の構築に努めているところです。その中であって最近とみに言われている顧客満足と、社員満足などが言われております。顧客満足については、それに値する誠意があれば通じると思われるのですが、社員満足となると、環境、待遇、雇用条件などなど多くの要因を含んでおり難しい対応が望まれます。人の健康に寄与する補綴物の製作は、遣り甲斐に通じるはずだと思うのですが。

営業部 長谷川高広 『諦めない』  
いつも本当に、ありがとうございます。先輩方は技工物のことを書かれています。私はこんな事を書いてみました。以前、京都の洛南高校の陸上短距離で日本で第二位の記録を出した人がいました。もう少しで9秒台にのるところまでできました。世界からは日本人ではそれは難しいと言われたそうです。なぜ、ここまで記録が伸びたかです。簡単に言うと「諦めなかった」からだと思えます。やはり諦めるということは、そこで人間の成長を止めてしまうということです。院長方々はじめ、我々も諦めることなく成長していき、医院の繁栄と共に、我々オー・プラン一同いい技工物を作り、お届けしたいと思えます。諦めは最大の敵です。限界をつくらぬよう皆さままで頑張っていきたいものです。

技工士 原 謙一郎 5月近畿デンタルショー開催  
いつもお世話になっております。  
先日大阪城ホールで**2013近畿デンタルショー**が行われ行ってきました。講演も出展ブースも多くの方が来られ大盛況でした。各社ブースではハード面・ソフト面多種多様の製品が出展されていましたが、中でも今、TVなどでもよく紹介されている”3Dスキャナー”のブースの前で長時間見入っていました。これからはこういう時代が来るのかなあとと思う反面少し恐ろしくもありました。しかし、いつでも、いつまでも新しいことにチャレンジできる技工所でありたいとも思っています。

技工士 松浦志樹  
質の良いデンチャーを  
患者さんに合った入れ歯なら、これまで噛めなかった硬いものも安心して噛めます。よく噛むと唾液の分泌が促され食欲も増進しておいしく食べることができます。良い入れ歯にめぐり合った方の一番の喜びは『物がおいしく食べられる』これだと言います。ただし合わない入れ歯だと、逆に食べ物がまずく感じたり、食事のたびに痛い思いをすることも少なくありません。印象、噛みあわせ等色々要因はありますが、患者さんに喜んでもらえるデンチャーを創っていきましょう。

営業部 井上雅博  
金属床から未来型スイングウエッジへ  
金属床はレジン床に比べて薄いので、口腔内が広く感じられ快適です。さらに温度をよく伝えるので、食事時には熱さ冷たさが味わえます。  
ところが、部分床義歯の場合には残存歯にクラスプをかけるので、その歯に負担をかけたり目立ってしまう場合も考えられます。そこで登場したのが、スイングウエッジATです。唇側にクラスプがなく、着脱時に残存歯に抵抗を与えません。まずは模型をご覧ください。



イオンコーティング  
チタンによるメタルプレート  
インプラント・アパットメントに



ジルコニアのコーピング  
多数歯OKでも



金属床のバージョンアップ  
唇側に見えるところのクラスプを無くした  
スイングウエッジ金属床

株式会社 オー・プラン・ラボラトリー

〒 661-0022 兵庫県尼崎市尾浜町1丁目29-1

TEL:06-6426-5291 FAX: 06-6426-5292

E-Mail:webmaster@opl.co.jp URL: http://www.opl.co.jp

ご意見やご質問は、webmaster@opl.co.jp(電子メール)までお願い致します。

□今後FAX不要の場合はお手数ですがFAX番号 \_\_\_\_\_ 記載の上、返信願います。